



益特だより

令和4年度 第2号

校長挨拶

地域の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に対しまして御理解と御協力をいただき、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、よもやの第八波への突入がこんなに早く来るとは予想もしていませんでした。基本的な対策の徹底で、経済活動や教育活動などの制限は、ほぼない状況であり、本校におきましても、引き続き感染防止対策を徹底しながら教育活動を進めているところです。しかし、日々の感染者数などを目の当たりにすると非常に気にかかります。

現在はこのような状況ではありますが、学校祭である「ましこ祭」は、10月の平日にオープニング、小学部演技発表、中学部即売会、高等部即売会・清掃実演、フィナーレと分散して開催しました。オープニングとフィナーレは、児童生徒の主体的な活動として、児童生徒会役員が中心に進め、各学部の分散開催をつなぐ大きな役割を果たしました。

小学部・中学部・高等部それぞれの開催日には、保護者の方が多く来校され、子どもたちの学習の成果である、「演技発表」を見学されたり、「作品」の販売に協力いただいたりしました。

地域の皆様にも、感染症が落ち着きましたら、「ましこ祭」が本来の目的である「交流学习発表会」として、より「地域とともにある学校」の行事として、以前のように自由に御参観いただきたいと心より願っております。

今年もあっという間に、年の瀬となり、令和4（2022）年も残すところわずかとなりました。令和5年も、良き年となりますよう祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



中学部1年生「国際理解」教育

1年生は、12月7日(水)に総合的な学習の時間の「国際理解」で、ALTローザンヌ先生、学習ボランティアブライアン先生と一緒に学習しました。授業では、自己紹介をしたり、ローザンヌ先生の話の聞いたりしました。最後に「サイモンセス」のゲームをしたりなど、みんなで楽しく活動することができました。



作業学習

本校の中・高等部には作業学習という授業があります。作業学習とは、作業活動をしながら、生徒の働く意欲を培い、将来の職業観や自立に必要な事柄を総合的に学ぶものです。中学部は手工芸班、陶芸班、農作業班に分かれて学習しています。手工芸班ではマットを製作しています。マット織りの材料を提供いただいている茂木町の岩崎縫製様が10月25日に栃木県公館にて学校教育支援ボランティア感謝状を贈呈されました。マット織りを製作する資材を継続して提供いただくことで、生徒たちの学習も積み重ねをすることができ、とても助かっています。



児童生徒指導部より

児童生徒指導部は、児童生徒が安心・安全に学校生活が送れるように支援しています。

また、芳賀郡内の幼小中高と連携を図り、児童生徒の身近な社会問題の未然防止、解決に向けて取り組んでいます。特に芳賀地区県立学校7校と警察が連携して、交通問題ゼロの会を展開し、携帯電話、スマートフォンの安全な使用の指導や交通事故の撲滅、犯罪に巻き込まれないために情報交換を行っています。

中高生の中には、登下校で真岡鐵道や関東バスを利用する生徒も多くいます。地域の皆様には、見守り活動をしていただき感謝申し上げます。地域の皆様やスクールガードリーダーの方、警察官の御協力もあり、毎日安全な登下校を行うことができます。今後もよろしくお願いいたします。

写真は、令和4年7月20日（水）に行われた、真岡鐵道利用生徒による多田羅駅の清掃活動の様子です。通学で利用している真岡鐵道に感謝の気持ちを持ち、除草やごみ拾い、駅舎のくもの巣取りなどを行いました。



お知らせ 随時学習の様子を本校のホームページで紹介しています。どうぞ御覧ください。

URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/mashikotoku/>

**お問合せは… 栃木県立益子特別支援学校
芳賀郡益子町七井3650**

Tel 0285 - 72 - 4915 fax 0285 - 72 - 7895

【学校案内図】

